



予算審査

予算特別委員会

委員長 村上 知巳

付託になった平成20年度筑後市一般会計予算他、特別会計8件、企業会計2件、合計11件の予算審査を行った。

一般会計予算の歳入全部について説明を求めた。個人分、法人分の市民税の落ち込みが示され、これに対して、滞納に対する厳しい

措置も考慮すべきと指摘があった。

経常収支比率のアップに対し、財政健全化計画を遵守すべきとの意見に対しては、事務事業評価と両立し対応するとの答弁があった。次に歳出の審査に移り、第1款議会費から第13款予備費までの審査を行った。

男女共同参画社会関連では、開催中の懇話会の状況や、市民アンケート調査結果に

対する意見が出された。慎重な推進が求められた。庁舎内の売店は運営上おかしとの意見に、協議をやり解決したいとの答弁。同和対策生きがい活動支援は、抜本的改革が必要と指摘。

市民の森公園テニスコートの利用は、指定管理者制度になり、市民の利用に支障

があるとの指摘。九州新幹線船小屋駅建設関連では、用地交渉が難航、そのため土地取用法を検討するとの答弁があった。文化財発掘調査も合理的な方法ですべきと意見が出された。船小

屋温泉振興組合は解散すべきで、船小屋温泉の活性化

は、筑後広域公園エリア内を考慮し県へ事業の移管をすべきと意見があった。これで一般会計予算の全ての審査が終了。採決の結果、賛成多数原案可決となった。特別会計8件は審査の結果、全て原案可決となった。

企業会計予算(市立病院事業)は、一般会計からの繰入状況について質問があり、繰出基準は守っている

と答弁があった。水道事業会計予算も黒字経営を見込んでいると答弁があり、審査の結果、全員賛成原案可決となった。

市政をズバリ問う

一

般

質

問

本定例会での一般質問は、3月5日から7日までの3日間行われ、13人の議員が質問しました。その質問と答弁の要旨をお知らせします。
※原稿は議員本人によるものです。